

## 財団法人セゾン文化財団

### 2007年度助成事業 および共催事業決定のご報告

財団法人セゾン文化財団(理事長:堤 清二/事務局:東京都中央区)は、本日開催された理事会および評議員会にて、2007年度の計画として**助成事業を計47件/総額7,400万円**(現代演劇・舞踊40件/計5,890万円、その他7件/計1,510万円)、および**共催事業(セゾンシアタープログラム)3件**を実施することを決定しました。

#### 芸術創造活動プログラム(複数年にわたる運営助成)について

過去10年以上の間に、演劇の燐光群、青年団、桃園会、指輪ホテルや、ダンスの伊藤キム+輝く未来、イデビアン・クルー、珍しいキノコ舞踊団、レニ・バツソ、またパフォーマンスのパパ・タラフマラやダムタイプなど、若手の劇団やカンパニーの運営を継続的に助成してきた「**芸術創造活動プログラム**」では、次の団体が新規助成対象に選ばれました(年間300万円助成):

#### 「芸術創造活動プログラム」 新規助成対象団体

- |                        |  |      |
|------------------------|--|------|
| ● ペンギンパイルパイルズ          | 代表: <small>くらもち</small> 倉持 <small>ゆたか</small> 裕  | 【演劇】 |
| ● 大橋可也&ダンサーズ           | 代表: <small>おおはし</small> 大橋 <small>かくや</small> 可也 | 【舞踊】 |
| ● Dance Company BABY-Q | 代表: <small>ひがしの</small> 東野 <small>ようこ</small> 祥子 | 【舞踊】 |

#### 継続プロジェクト支援(複数年にわたる国際交流活動助成)について

また、これまでにティーファクトリー、ク・ナウカ シアターカンパニー、劇団解体社、舞踊資源研究所(田中泯)による、継続性が重視される国際交流活動をサポートしてきた「**継続プロジェクト支援プログラム**」では、今回新たに次の2つのプロジェクトが採択されました:

#### 「継続プロジェクト支援プログラム」 新規助成対象事業

- |   |         |
|---|---------|
| ● Ko & Edge Co.(代表:室伏鴻)によるベルナルド・モンテと<br>ジョセフ・ナジとの共同制作事業 | 【舞踊】    |
| ● R PRODUCTION(代表:菊池領子)による日中舞台芸術<br>交流プロジェクト            | 【演劇・舞踊】 |

2008年度の公募プログラム(現代演劇・舞踊分野)の募集要項は、本年10月より配布を開始します。申請締め切りは本年12月を予定しています。

なお、セゾン文化財団は、本年設立20周年を迎えます。この場を借りまして、これまでに当財団の活動をサポートして下さった皆様への感謝を申し上げます。

2007年3月13日  
財団法人セゾン文化財団  
事務局

## 財団法人セゾン文化財団 プログラム構成・目次

財団法人セゾン文化財団のプログラム構成は次のとおりです。2007年度の助成対象者等の概要は下記ページに記載されています。

### 助成事業： 国内プログラム

- (1) 現代演劇・舞踊助成
  - <A> 創造環境整備活動（人材育成、情報交流、サバティカル） p.3
  - <B> 芸術創造活動（劇団、ダンスカンパニー等の運営助成） p.5
- (2) 特別助成 [非公募プログラム] p.6

### 助成事業： 国際交流プログラム

- (1) 知的交流プログラム
  - <C-1> 現代演劇・舞踊助成 - 知的交流活動 p.7
- (2) 芸術交流プログラム
  - <C-2- > 現代演劇・舞踊助成 - 芸術交流活動 : プロジェクト支援 p.7
  - <C-2- > 現代演劇・舞踊助成 - 芸術交流活動 : 継続プロジェクト支援 p.8
  - <C-2-F> 現代演劇・舞踊助成 - 「フランス・ダンス・03」寄附プログラム  
日仏舞踊交流プログラム p.9
  - 芸術交流活動 [非公募プログラム] p.9
- (3) 特別助成 [非公募プログラム] p.9

### 共催事業（セゾンシアタープログラム） p.10

### < 現代演劇・舞踊助成 > 公募プログラム部門の概況 p.11

## 財団法人セゾン文化財団 2007年度 助成事業 【47件 / 総額74,000千円】

セゾン文化財団では、資金援助のほか、希望する助成対象者に当財団が運営する演劇・舞踊の稽古専用施設「森下スタジオ」(東京・江東区)を貸与している。

(注) 以下は当財団の理事会・評議員会が開催された2007年3月13日現在の申請受付内容に基づくため、今後変更等の可能性あり。

### 国内プログラム

【31件 / 47,700千円】

#### (1) 現代演劇・舞踊助成

【27件 / 43,600千円】

#### 【現代演劇・舞踊助成】 <A> 創造環境整備活動 - 公募プログラム - 【18件 / 14,900千円】

演劇・舞踊界のシステムの改善、人材育成、ネットワークの構築など、芸術創造を支える環境の整備を目的とした調査・研究、ワークショップ、会議、シンポジウム等に助成。

- **演劇： 2006年度に続き、地域における下記の演劇振興活動などを重点的に支援**
  - 札幌の文化施設**コンカリーニョ**が福岡のNPO法人FPAPと共催する、両都市の演劇人を軸にしたワークショップ、公演、シンポジウムなどを開催する地域間交流プロジェクト。
  - **高知演劇ネットワーク / 演会**による、高知県内の演劇人育成のために県外の演出家を招き、作品製作を核にスキルアップのワークショップとレクチャーなどを実施する事業(2年目)。
- **舞踊： 従来への育成・普及活動を発展させた下記の企画などを支援**
  - **Dance Theatre LUDENS**がこれまでの経験を活かして海外から講師を招き、国際的な視野にたってコンテンポラリーダンスの技術、表現方法、創作について多面的に考えるワークショップおよびリサーチプロジェクト。
  - 大阪で10年間にわたってコンテンポラリーダンスの育成・普及活動を行ってきたNPO法人**ダンスボックス**が、若手振付家・ダンサーらのさらなるステップアップを支援する活動。
  - これまでに**コンタクト・インプロビゼーション(CI)**の国内での普及活動を行ってきた関係者が、日本で国際的なCIフェスティバルを開催する**CI Festival Japan 実行委員会**の活動。
- **サバティカル (休暇・充電)**
  - 海外の文化などに触れながら、これまでの活動を振り返り、さらに今後の展開のヒントを得たいと考えている一定以上の評価を受けているアーティストやプロデューサー、批評家による休暇・充電を支援する当プログラムでは、**ダムタイプ**の創設メンバーであり、パフォーマンスとインスタレーションの制作、映像、照明、グラフィックデザインなどを手がける**高谷史郎**への助成が決定。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
<b>人材育成</b>				
[演劇関連]				
A-T 創坊 阿部初美	ポストドラマ演劇の実践ワークショップ [3年連続助成]	2007年6月1日 2008年5月31日	東京	500
京都芸術センター / 財団法人京都市芸術文化協会 村井 康彦	演劇計画2007 [3年連続助成]	2007年9月1日 2008年1月31日	京都	1,000
高知演劇ネットワーク / 演会 西村和洋	TheaterLab.こうち Me 2nd [2年連続助成]	2007年9月1日 2007年10月31日	高知	1,000
社団法人日本劇団協議会 戌井市郎	フィリップ・ゴーリエ演劇ワークショップ [第2期・3年連続助成]	2007年7月30日 2007年8月10日	東京	森下スタジオ 貸与

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
<b>人材育成 (つづき)</b>				
【舞踊関連】				
アイカワマサアキスタッフ塾 侑ジョンズ 相川正明	旅するスタッフ塾	2007年4月1日 2008年3月31日	東京ほか 日本全国	1,000
輝く未来 / 伊藤キム 伊藤キム	振付家・ダンサー人材育成 ワークショップ	2007年4月1日 2008年3月30日	東京、神奈川	1,000
金魚 鈴木ユキオ	鈴木ユキオ・ワークショップ 「また、踊るために」	2007年11月1日 2008年2月29日	東京、京都	600
Dance Theatre LUDENS 岩淵多喜子	Tokyo International Dance Workshop: Re/Action	2007年4月23日 2007年5月12日	東京	1,000
特定非営利活動法人 ダンスボックス 大谷 燠	dB Physical arts Festival 大阪 BABA	2008年1月1日 2008年3月31日	大阪	1,000
<b>情報交流</b>				
【演劇関連】				
荻野達也	地域を超える制作者プロジェクト	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	500
コンカリーニョ 斎藤ちず	Meets 2007! ~札幌 - 福岡 地域演劇の新しいカタチ(仮)	2007年4月1日 2007年11月5日	北海道、 福岡	1,000
TOKYOSCAPE 実行委員会 杉山 準	TOKYOSCAPE (トウキョウスケープ) [3年連続助成]	2007年10月1日 2007年10月14日	東京	300
【舞踊関連】				
吾妻橋ダンスクロッシング 実行委員会 桜井圭介	吾妻橋ダンスクロッシング [3年連続助成]	2007年8月26日 2007年12月23日	東京	1,000
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 太田省吾	ジャン・ジュネの作品に基づく ダンス公演「恋する虜」をめぐる プロジェクト	2007年6月1日 2008年2月29日	京都	1,000
芸術家のくすり箱 福井恵子	芸術家のくすり箱 [2年連続助成]	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	1,500
CI Festival Japan 実行委員会 勝部ちこ	コンタクト・インプロビゼーション フェスティバル・ジャパン 2008	2008年3月11日 2008年3月22日	関東近郊、 東京	1,000
【舞台芸術全般】				
特定非営利活動法人 国際舞台芸術交流センター 中根公夫	インフォーマル・ユーロピアン・ シアター・ミーティング(IETM) 東京サテライトミーティング	2008年3月1日 2008年3月3日	東京	500
<b>サバティカル (休暇・充電)</b>				
高谷史郎	地球温暖化によって消えてしまうかも しれない場所を訪ねて	2007年6月14日 2007年7月15日	フィジー、ツバ ル、キリバス 他	1,000

**【現代演劇・舞踊助成】 <B> 芸術創造活動 - 公募プログラム - 【9件 / 27,000千円】**

現代演劇・舞踊界での活躍が今後期待される若手(芸術創造活動：原則として3年間継続助成)、および次段階としてさらなる展開、活躍が期待される中堅(芸術創造活動：原則として3年間継続助成)の芸術家/芸術団体の育成を目的に助成。

- 「芸術創造活動」の新規助成対象として選ばれたのは、演劇のペンギンパイルパイルズ(代表:倉持裕)、および舞踊の大橋可也&ダンサーズ(代表:大橋可也)とDance Company BABY-Q(代表:東野祥子)の計3団体。

**ペンギンパイルパイルズ 代表: 倉持 裕 (くらもち・ゆたか / 1972年生まれ) 【演劇】**

**【団体の活動主旨と特徴】**

2000年に劇作家、倉持裕によって「新作を定期的に発表する場」として設立される。演劇表現における新たな方法の探求、既存の方法の見直し、古典芸能または他分野で用いられる技法の現代劇への応用に取り組む。2002年より、旗揚げ公演から主軸を担ってきた元「ナイロン 100」の小林高鹿と「遊園地再生事業団」等で活躍していたばくもとさきこの正式加入によって倉持の個人ユニットから劇団に移行する。2004年に「兵庫県立ピッコロ劇団」出身の俳優、玉置孝匡が参加。非日常的な日常を描きつつ「演劇の嘘」と「日常のリアル」のバランスをくずす作風で知られる。

<http://penguinppp.com/>



『道子の調査』(2006年) 撮影:引地信彦

**【代表者プロフィール】**

1992年、学習院大学在学中に学生劇団に参加、執筆活動を開始する。1994年、岩松了プロデュース『アイスクリームマン』に俳優として参加、以後執筆面でも同氏に師事する。2000年「ペンギンパイルパイルズ」を設立。物事をシニカルな視点で切り取り、入り組んだストーリー展開を見せつつ、巧妙な台詞を用いて乾いた笑いに変換する独自の作風を持つ。台詞の応酬と絶妙な間のやり取りは、舞台だけでなく映像方面からも注目されている。2004年、『ワンマン・ショー』にて第48回岸田國土戯曲賞を受賞。



**大橋可也&ダンサーズ 代表: 大橋可也 (おおはし・かくや / 1967年生まれ) 【舞踊】**

**【団体の活動主旨と特徴】**

舞踏振付法を学んだダンサー、コレオグラファーの大橋可也によって1999年に結成されたダンスカンパニー。ハードコアダンスを提唱し、「ダンスとは何か」という根本的な問いかけに立ち向かうことを活動の主題とする。2000年、「バニョレ国際振付賞2000ヨコハマプラットフォーム」に『Today Your Love, Tomorrow The World』を出品するも、出演者が全裸であるという理由で非公開の審査となる。以降、活動を休止する。2003年、活動を再開。2004年『あなたがここにいてほしい』を発表、「ラボ 20#16 アワード」受賞。2005年にはニューヨークの代表的なアートスペース「The Kitchen」に招聘され、初の海外公演をおこなう。

<http://dancehardcore.com/>



『明晰さは目の前の一点に過ぎない』(2006年) 撮影:GO

**【代表者プロフィール】**

コレオグラファー。山口県宇部市生れ。1985-1989年、横浜国立大学にて経営学を学ぶ。イメージフォーラム付属映像研究所にて映像制作を学んだ後、カナダのバンクーバーにてパフォーマンス活動を始める。1992-1994年、陸上自衛隊特別儀仗隊に勤務。1993-1997年、「和栗由紀夫+好善社」の活動に舞踏手として参加し、土方巽直系の舞踏振付法を学ぶ。1999年、「大橋可也&ダンサーズ」を結成、振付作品の発表を開始する。ダンスの創作活動と平行してコンピューターシステム開発の勤務を継続し、日常生活と遊離することの無い作品制作を心がけている。



撮影:GO

## Dance Company BABY-Q

代表：東野祥子（ひがしの・ようこ / 1972年生まれ）【舞踊】

### 【団体の活動主旨と特徴】

2000年に東野祥子を中心に結成されたダンス・パフォーマンスグループ。様々なジャンルで活躍するメンバー（ダンサー、役者、音楽家、映像作家、ロボット製作者、美術作家）とのコラボレーションにより、野外、ギャラリー、クラブ、劇場など、あらゆる空間で作品を発表。様々な表現媒体が交錯する作品を国内外で発表。

<http://www.baby-q.org/>

『POOL』（2004年）撮影：井上嘉和



### 【代表者プロフィール】

Dance Company BABY-Q 代表、振付家・ダンサー。身体から織りなされる感情の起伏や衝動、個々の人間の本质をダンスの根底に置き、ダークかつカッティングエッジな電子音響と機械仕掛けの硬質な美術、様々なモチーフの交錯する作品世界を創りだす。2007年および2008年（財）地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティストなど、アウトリーチ活動も行う予定。「トヨタコレオグラフィーアワード 2004」参加作品『ALARM!』で（次代を担う振付家賞）を受賞。



撮影：谷敦志

助成対象者名 代表者名 [ジャンル]	助成期間	該当年度開始日 該当年度終了日	活動拠点	助成額 (年間/千円)
<b>芸術創造活動 &lt;新規&gt;</b>				
ペンギンパイルパイルズ 倉持 裕 [演劇]	2007年度から2009年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000
大橋可也&ダンサーズ 大橋可也 [舞踊]	2007年度から2009年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000
Dance Company BABY-Q 東野祥子 [舞踊]	2007年度から2009年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000
<b>芸術創造活動 &lt;継続&gt;</b>				
チェルフィッチュ 岡田利規 [演劇]	2006年度から2008年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京/ 神奈川	3,000
マレピトの会/ 特定非営利活動法人劇研 松田正隆 [演劇]	2006年度から2008年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	京都	3,000
劇団、本谷有希子 本谷有希子 [演劇]	2005年度から2007年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000
地点 三浦 基 [演劇]	2005年度から2007年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	京都	3,000
Co.山田うん 山田うん [舞踊]	2005年度から2007年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000
<b>芸術創造活動 &lt;継続&gt;</b>				
AbsT 白井 剛 [舞踊]	2006年度から2008年度までの 継続助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	3,000

## 若手奨励助成

【1,700千円】

- ◆ 今後の活動が注目される若手に対して奨励金を付与する。

## (2) 特別助成 非公募プログラム

【4件 / 4,100千円】

国内における現代演劇・舞踊以外の芸術・文化分野の活動を支援。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
一柳 慧	一柳慧作品演奏会 3.音楽と詩の饗宴	2007年9月23日 2007年9月23日	東京	700
大阪文学協会 <小野十三郎賞実行委員会> 高畠 寛	第9回小野十三郎賞	2007年4月1日 2007年11月30日	大阪	200
多摩美術大学 芸術人類学研究所 中沢新一	「芸術の発生物学」部門研究助成	2007年4月1日 2008年3月31日	東京	2,900
歷程社 新藤涼子	歷程フェスティバル 「未来を祭れ」	2007年11月12日 2007年11月12日	東京	300

## 国際交流プログラム

[16件 / 26,300千円]

### (1) 知的交流

[4件 / 3,500千円]

#### [現代演劇・舞踊助成] <C-1> 知的交流活動 - 公募プログラム -

[4件 / 3,500千円]

日本の舞台芸術の紹介および海外との相互理解を目的とした会議、シンポジウム、翻訳出版活動に対して助成。

#### ■ 海外で開催される人物交流事業などを支援

- ニューヨークの芸術系非営利団体 **CAVE (ケイヴ)** によるアメリカ唯一の舞踏フェスティバルでのレクチャーとトークセッションに日本から関係者を招聘する事業。
- シンガポールの劇団 **TheatreWorks (シアターワークス)** が主催する、複数の国・文化・ジャンルのアーティストが一堂に会する交流事業に日本の舞台芸術家を招聘する事業。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
CAVE Organization, Inc. Shigekazu Moriya	The 2007 Third Biennial New York Butoh Festival – Lectures & Talk Sessions	2007年4月1日 2007年11月18日	ニューヨーク	1,000
サードステージ 鴻上尚史	ブッシュ・シアター(ロンドン)での『トランス』上演のための翻訳事業	2007年4月1日 2007年6月30日	ロンドン	500
TheatreWorks (Singapore) Ltd ONG Keng Sen	The Flying Circus Project	2007年11月1日 2007年12月31日	ホーチミン、 シンガポール	1,000
日本舞台美術家協会 石井強司	ブラハカドリエンナーレ 2007 展	2007年6月14日 2007年6月24日	ブラハ	1,000

### (2) 芸術交流

[12件 / 22,800千円]

#### [現代演劇・舞踊助成] <C-2> プロジェクト支援 - 公募プログラム - [4件 / 森下スタジオ貸与]

国際交流を通じた創造活動の活性化、および日本の舞台芸術の国際化を目的とする国際共同作業、公演に対して助成。森下スタジオ貸与のみ(資金助成なし)。

#### ■ 海外のアーティストが森下スタジオで行う下記の共同制作事業等を支援

- ニューヨークのカンパニー Science Project の芸術監督で現在日本に滞在中の **Yelena Gluzman (イエレナ・グルッツマン)** による、文化人類学者マーガレット・ミード(1901-1978)の研究をテーマとする作品を日本のアーティストと共同制作する事業を支援。
- 村上春樹の『ねじまき鳥クロニクル』を日本の俳優とスタッフと舞台化するニューヨークの演出家・映像作家 **Stephen Earnhart (スティーヴン・アーンハート)** による共同制作事業を支援。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額
[共同制作]				
Yelena Gluzman (イエレナ・グルッツマン)	WORM MAN	2007年12月3日 2007年12月23日	東京	森下スタジオ 貸与
Stephen Earnhart (スティーヴン・アーンハート)	The Wind-Up Bird Chronicle	2007年12月15日 2008年1月20日	東京	森下スタジオ 貸与
[海外公演]				
パパ・タラフマラ 小池博史	パパ・タラフマラ ワールドレパートリーツアー2007	2007年10月14日 2007年10月27日	オムスク、モスクワ、 クレシチュレ、 ニューヨーク他	森下スタジオ 貸与
珍しいキノコ舞踊団 伊藤千枝	珍しいキノコ舞踊団 『3mm ぐらいズレてる部屋』ツアー	2007年9月1日 2007年9月30日	クアラルンプール、 ブリスベン、 シドニー	森下スタジオ 貸与

**〔現代演劇・舞踊助成〕 <C-2- >継続プロジェクト支援 - 公募プログラム - 【4 件 / 11,000 千円】**

演劇・舞踊の国際交流において特に重要な意義を持つと思われる、2年以上の継続プロジェクトに対して助成

- 新規助成対象として選ばれたのは、舞踊家の室伏鴻率いる Ko & Edge Co. によるベルナルド・モンテとジョセフ・ナジとの共同制作事業、および R PRODUCTION がプロデュースする、中国の若手演出家・顧雷(ゲー・レイ)と日本の演劇人との共同プロジェクト、および日本の舞踏家・田中泯による中国での初公演を含む交流事業。

**Ko & Edge Co. 室伏鴻、ベルナルド・モンテ、ジョセフ・ナジ プロジェクト**

舞踏家、室伏鴻による 2007 年度から 3 年度にわたる共同創造事業。

フランスのトゥール国立振付センター芸術監督兼ダンサー、演出家のベルナルド・モンテ (Bernard Montet)、およびオルレアン国立振付センター芸術監督兼振付家のジョセフ・ナジ (Josef Nadj) との共同創作活動。初年度はフランスの 3 都市の国立振付センターや東京などで合同ワークショップとショーイングを行い、続いて 2008 年度にはモンテとナジそれぞれの故郷であるモロッコとハンガリーにて移動型ワークショップとショーイングを実施する。最終年度にあたる 2009 年度には日本とフランスで最終リハーサルや試演会等を経て、両国で公演を開催予定。

**R PRODUCTION 21 世紀日中舞台芸術交流プロジェクト**

日本と中国との間の舞台芸術交流のプロデュース活動を行っている R PRODUCTION (代表: 菊池領子) による 2007 年度から 3 年度にわたる共同制作・公演事業。

日中間の舞台芸術交流を促進するために演劇と舞踊の両分野にて各々継続プロジェクトを行う。初年度には日本の「マレピトの会」の代表である劇作家・松田正隆の『海と日傘』を中国の若手演出家、顧雷 (ゲー・レイ) によって北京で上演する。さらに舞踊では、田中泯の中国初公演として、上海での劇場公演と雲南省の麗江での野外公演を実施する。以後演劇では顧雷、舞踊では田中泯による活動を展開予定。

助成対象者名 代表者名 [ジャンル]	事業名・助成期間	06 年度 事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (年間/千円)
<b>新規</b>				
Ko & Edge Co. 室伏 鴻 [舞踊]	室伏鴻、ベルナルド・モンテ、 ジョセフ・ナジ 2007 年度から 2009 年度までの継続助成	2007 年 12 月 1 日 2008 年 5 月 31 日	アンジェ、オルレ アン、トゥール、 東京	2,000
R PRODUCTION 菊池領子 [演劇・舞踊]	21 世紀日中舞台芸術交流プロジェクト 2007 年度から 2009 年度までの継続助成	2007 年 4 月 1 日 2007 年 11 月 30 日	北京、上海、 麗江(雲南省)	3,000
<b>継続</b>				
燐光群 / 有限会社グッドフェローズ 坂手洋二 [演劇]	フィリピン国際交流プログラム 2006 年度から 2008 年度までの継続助成	2007 年 4 月 1 日 2008 年 3 月 31 日	マニラ、東京、 兵庫、福岡	3,000
ビーグル・インク株式会社 上田 茂 [パフォーマンス]	『A Page Out of Order』 中馬芳子 / The School of Hard Knocks Japan プロジェクト 2006 年度から 2008 年度までの継続助成	2007 年 5 月 15 日 2007 年 9 月 15 日	東京、シビウ、 神奈川	3,000

**〔現代演劇・舞踊助成〕 <C-2-F> 「フランス・ダンス・03」寄附プログラム**  
**日仏舞踊交流プログラム - 公募プログラム -** **【1件 / 800千円】**

「フランス・ダンス・03」からの寄附によって設立された、2005年度より2007年度までの期間限定プログラム。  
来日するフランス現代舞踊家の活動の紹介を目的としたレクチャー、デモンストレーション、公演等に対して助成。  
協力：日欧文化交流協会(AJEEC)

■ プログラムの最終年度に採択された事業は次のとおり：

- フランスのダンス界の先駆的な動きを探る企画として**せたがや文化財団**が招聘する若手振付家 **Samuel Mathieu(サミュエル・マチュー)**による公演とワークショップ事業。トゥールーズ振付開発センターのディレクター**Annie Bozzini(アニー・ボジニ)**によるレクチャーも同時開催する。

助成対象者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
財団法人せたがや文化財団 三重野 康	カンパニー・サミュエル・マチュー ダンス公演『Us-Band』、ダンスワーク ショップ、およびアニー・ボジニ“ダンス レクチャー”	2007年10月4日 2007年10月14日	東京	800

**芸術交流活動 - 非公募プログラム -** **【2件 / 10,000千円】**

海外の非営利団体との継続的なパートナーシップに基づく芸術創造活動、日本文化紹介事業、フェローシップ事業等に対して支援するプログラム。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
Asian Cultural Council Ralph Samuelson	日米芸術交流プログラム	2008年1月1日 2008年12月31日	アメリカ、日本	7,000
Japan Society, Inc. Yoko Shioya	ジャパニーズ・シアター・ナウ [第2期・4年目] 川村毅(ティーファクトリー) 作・演出 『AOI/KOMACHI』公演	2007年3月17日 2007年3月31日	ニューヨーク	3,000

**(3) 特別助成 非公募プログラム** **【1件 / 1,000千円】**

現代演劇・舞踊以外の芸術・文化分野での国際交流活動を支援。

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	助成額 (千円)
日中詩人会議 小田久郎	第2回日中現代詩シンポジウム	2007年10月28日 2007年11月2日	東京	1,000

## 財団法人セゾン文化財団 2007年度 共催事業 (セゾンシアタープログラム)

### 日米現代劇作家・戯曲交流プロジェクト

【演劇】

期日： 2007年7月13日～7月22日 および2007年秋

会場： ミネアポリス(プレイライツ・センター)

主催： U.S./Japan Cultural Trade Network of Arts Midwest

内容： 日本の現代戯曲を海外での上演に結びつけるための3年間にわたる現代戯曲翻訳と劇作家交流のプロジェクト。全米の劇作家サポート専門機関であるプレイライツ・センターと提携し、ミネアポリスのガスリー・シアター、東京国際芸術祭と協力しながら展開する。毎年1～2名の劇作家を日本から派遣。

### 遊園地再生事業団 演劇公演「ニュータウン入口」

【演劇】

期日： プレビュー リーディング公演 2007年4月20日～4月22日

プレビュー 準備公演 2007年6月29日～7月1日

本公演 2007年9月21日～9月30日

会場： 森下スタジオ(プレビュー公演)、シアターラム(本公演)

主催： 遊園地再生事業団

作・演出： 宮沢章夫

内容： 森下スタジオを新作創作の活動拠点とし、創作途中で試演を発表しながら本公演に向けて作品を練り上げる。プレビュー公演では、出来る限り公演後に観客とのディスカッションを実施し、作品のフィードバックに役立てる。2007年2月に実施したオーディションには190名が応募。そのうち10名の参加が決まっている。共催事業として森下スタジオを提供。

### アジア芸術交流・舞踊家派遣事業

【舞踊】

期日： 2007年8月17日～8月24日

派遣先： ダンス・フェスティバル「Live Arts Bangkok」

派遣舞踊家： 山下残ほか

会場： ジム・トンブソン・ハウス(タイ・バンコク)

主催： ジム・トンブソン財団、SEAMEO-SPAFA(タイ・考古学、美術地域センター)

内容： 1994年のトライアングル・アーツ・プログラムから継続して実施しているアジア諸国との交流事業の流れを踏まえ、本年度は2月に森下スタジオで開催された「第3回アジアダンス会議」から派生した交流企画のひとつである、ダンス・フェスティバル「Live Arts Bangkok」(タン・フクワン企画)に1～2名のダンサー/振付家を派遣する。本フェスティバルは、ジム・トンブソン・ハウスを使い、美術展「License to Perform」(リクリット・ティラバーニャ企画)展と同時開催される。

財団法人セゾン文化財団  
2007年度  
<現代演劇・舞踊助成>  
公募プログラム部門の概況

**国内プログラム**

<A> 創造環境整備

プログラム名	プログラムの目的	対象事業	申請数	採択数
創造環境整備活動	演劇・舞踊界のシステムの改善、人材育成、ネットワークの構築など、芸術創造を支える環境の整備	ワークショップ、会議、シンポジウム、調査・研究等	40	17
アーツマネジメント 留学・研修	海外の大学、およびそれに準ずる専門教育機関への留学・研修	海外での3ヶ月以上の専門教育機関への留学、あるいは劇場、芸術関係団体への研修	1	0
サバティカル (休暇・充電)	舞台芸術家個人による異文化体験の機会の提供	日本を拠点に活動する演出、振付、劇作、批評、プロデュースの専門家による1ヶ月以上の海外渡航	6	1
<b>小計</b>			<b>47</b>	<b>18</b>

<B> 芸術創造活動

プログラム名	プログラムの目的	対象事業	申請数	採択数
<B-1> 芸術創造活動	演劇・舞踊界での活躍が今後期待される若手芸術家 / 芸術団体の育成	申請者の芸術創造に関わる活動全般 (原則3年間にわたって支援)	84*	8*
<B-2> 芸術創造活動	芸術創造活動 に引き続き、さらなる展開が期待される芸術家 / 芸術団体の育成	申請者の芸術創造に関わる活動全般 (原則3年間にわたって支援)	1**	1**
<b>小計</b>			<b>85</b>	<b>9</b>

\* 継続5件を含む  
\*\*継続1件のみ募集

**国際交流プログラム**

プログラム名	プログラムの目的	対象事業	申請数	採択数
<C-1> 知的交流活動	日本の舞台芸術の紹介および相互理解の促進	日本の舞台踊芸術に関する会議・シンポジウム、翻訳出版等	5	4
<C-2> 芸術交流活動 : プロジェクト支援	国際交流を通じた創造活動の活性化、日本の舞台芸術の国際化	国内外の芸術家による共同創造事業および海外 / 招聘公演	8	4
<C-2> 芸術交流活動 : 継続プロジェクト支援	演劇・舞踊の国際交流において特に重要な意義を持つと思われる2年以上の継続プロジェクトを支援	作品もしくはテーマの定まった2年以上にわたる国際交流事業	13*	4*
<C-2> 芸術交流活動F: 日仏舞踊交流プログラム	来日するフランス現代舞踊家の活動紹介を支援 (「フランス・ダンス 03」からの寄附により設立 / 2005年度から2007年度までの期間限定プログラム)	日本国内におけるフランス現代舞踊家の活動紹介を目的としたレクチャー & デモンストレーション、公演等	2	1
<b>小計</b>			<b>28</b>	<b>13</b>

\* 継続2件を含む

**合計**      **160**      **40**

注) 非公募プログラム採択の7事業、および共催事業3件は除く。

以上

収 支 予 算 書

2007年4月1日から2008年3月31日

単位:千円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
基本財産運用収入	100,000	100,000	0	
特定資産等運用収入	70,000	70,000	0	
事業収入	8,000	8,000	0	
助成金収入	1,000	1,000	0	
寄付金収入	5,000	5,000	0	
負担金収入	1,600	1,600	0	
雑収入	100	100	0	
事業活動収入計	185,700	185,700	0	
2.事業活動支出				
事業費支出	( 159,100 )	( 162,000 )	( 1,980 )	
国内助成事業費支出	( 96,210 )	( 91,660 )	( 4,550 )	
助成金支出	47,700	45,400	2,300	
給与手当	23,560	20,570	2,990	
臨時雇賃金	0	180	180	
福利厚生費	4,590	4,300	290	
会議費	490	470	20	
旅費交通費	2,370	2,210	160	
通信運搬費	790	750	40	
消耗什器備品費	130	120	10	
消耗品費	130	120	10	
修繕費	1,220	1,140	80	
印刷製本費	2,300	2,150	150	
光熱水料費	2,120	1,980	140	
賃借料	250	240	10	
保険料	380	350	30	
租税公課	2,910	2,720	190	
委託費	3,390	3,180	210	
調査費	3,450	5,380	1,930	
雑費	430	400	30	
国際交流助成事業費支出	( 52,880 )	( 58,350 )	( 5,470 )	
助成金支出	26,300	29,000	2,700	
給与手当	12,980	13,120	140	
臨時雇賃金	0	100	100	
福利厚生費	2,530	2,740	210	
会議費	260	280	20	
旅費交通費	1,290	1,400	110	
通信運搬費	430	460	30	
消耗什器備品費	60	70	10	
消耗品費	60	70	10	
修繕費	660	720	60	
印刷製本費	1,260	1,370	110	
光熱水料費	1,160	1,260	100	
賃借料	130	140	10	
保険料	190	210	20	
租税公課	1,590	1,730	140	
委託費	1,860	2,010	150	
調査費	1,890	3,420	1,530	
雑費	230	250	20	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
自主・共催事業費支出	( 10,010 )	( 11,990 )	( 1,980 )	
制作費支出	5,000	6,000	1,000	
給与手当	2,460	2,710	250	
臨時雇賃金	0	20	20	
福利厚生費	480	560	80	
会議費	50	50	0	
旅費交通費	240	290	50	
通信運搬費	80	90	10	
消耗什器備品費	10	10	0	
消耗品費	10	10	0	
修繕費	120	140	20	
印刷製本費	240	280	40	
光熱水料費	220	260	40	
賃借料	20	20	0	
保険料	30	40	10	
租税公課	300	350	50	
委託費	350	410	60	
調査費	360	700	340	
雑費	40	50	10	
管理費支出	( 71,100 )	( 72,100 )	( 1,000 )	
役員報酬	17,500	17,500	0	
給与手当	11,000	11,000	0	
福利厚生費	5,200	5,200	0	
会議費	3,100	1,700	1,400	
旅費交通費	500	500	0	
通信運搬費	1,300	1,300	0	
消耗什器備品費	200	200	0	
消耗品費	400	400	0	
印刷製本費	600	600	0	
光熱水料費	900	900	0	
賃借料	23,100	22,000	1,100	
保険料	0	0	0	
租税公課	100	100	0	
委託費	2,700	2,700	0	
雑費	4,500	8,000	3,500	
事業活動支出計	230,200	234,100	2,980	
事業活動収支差額	44,500	48,400	2,980	
投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
特定資産等取崩収入	0	200,000	200,000	
特定目的基金取崩収入	13,800	1,400	12,400	
投資活動収入計	13,800	201,400	187,600	
2.投資活動支出				
借地権購入等支出	0	189,500	189,500	
森下スタジオ設備関連	13,000	0	13,000	
投資活動支出計	13,000	189,500	176,500	
投資活動収支差額	800	11,900	11,100	
財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
2.財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	5,000	5,000	0	
当期収支差額	48,700	41,500	7,200	
前期繰越収支差額	131,000	104,000	27,000	
次期繰越収支差額	82,300	62,500	19,800	

(注) 1 借入金限度額 0円  
2 債務負担額 0円